

第 23 回議会報告会 報告書

地 域 名	小佐地域		
年 月 日	令和 4 年 10 月 26 日 (水)	会 場 名	小佐コミュニティスポーツセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 00 分
参 加 数	男性 24 人	女性 0 人	合計 24 人
班 長	津崎 和男	司 会 者	津崎 和男
報 告 者	瀬原 敬樹、藤原 芳巳	書 記	瀬原 敬樹
班 員 名	津崎 和男、勝地 貞一、瀬原 敬樹、藤原 芳巳		
市 民		対 応	
報告に対する質疑	<p>① 高齢化が進み、今後は市税などの財源が減るのではないか。</p> <p>② 年金生活になると介護保険料が高く感じるが、どうか。</p> <p>③ 旧八鹿文化会館跡地の利用はどうか。</p> <p>④ 八鹿駅前の整備計画や駐車場の利用はどうか。</p>	<p>① 独自財源の市税は 24 億円ほどだが、足りない分は国から交付税などが措置される。また、決算で黒字分の半分は基金に積み立てるよう定められており、必要に応じてを取り崩して使っている。</p> <p>② 介護保険制度は公費が 50%、40 歳以上の市民の負担が 50%で運営されている。現在は一般会計から繰入れしており、保険料は若干下げられている。</p> <p>③ 当初はプレハブの会議室を建設する計画であったが、現在検討中である。</p> <p>④ 旧八鹿町時代に県と町と J R で整備を始めたが、用地交渉で難航した。その後貨物線跡地は国鉄清算事業団から市が全て購入し、市道や駐車場、駐輪場等を整備した。</p>	
市 民		対 応	
意見交換会での質疑	<p>① 八鹿病院の医師がコロコロ変わるのはどうにかならないか。</p>	<p>① 若い医師は技術を磨くため、あちこちの病院に勤務する。また、兵庫医大と神戸大に養父市が毎年寄付し、医師を派遣してもらっているが、終了後には帰ってしまう。特に非常勤医師はよく変わる。</p>	

	市 民	対 応
意見交換会での質疑	<p>② 豊岡芸術文化観光専門職大学と養父市との連携はどうか。市内の高校生は興味を持っているのか。</p> <p>③ 議会もBCPを策定しているが、台湾有事への市の対応はどうか。</p> <p>④ 当選後2年が経過し、議会で公約実現した実績を一覧表にしてはどうか。</p> <p>⑤ 明石市は子育て支援で人口が増えている。人口減少と空き家問題の解決策は。</p> <p>⑥ 救急の場合、近くに八鹿病院があるのになぜ豊岡病院へ搬送するのか。もっと八鹿病院を利用すべきだ。</p>	<p>② 養父市も同大学への演劇祭関係予算を負担しており、交流事業なども行っている。定員80人と少なく、養父市の生徒がいるかはわからない。</p> <p>③ 議会BCPでも有事への対応は記載されているが、国政の領域なので対応は難しい。</p> <p>④ 一覧表にするのは難しいが、議員個々で議会報告やニュースを発行している。</p> <p>⑤ 養父市の子育て支援は明石市と遜色ない。若者向けの移住定住施策とともに、高齢者には健康で長生きできるまちづくりを行っている。人口は自然減や社会減で毎年400人以上減っている。空き家バンク制度で物件の登録や利用も進んでいる。特定空家も撤去補助金が利用されている。</p> <p>⑥ 豊岡病院は救急医療で医師20人と体制が整っている。八鹿病院も救急の診療科があるが、医師数が少ない。</p>
その他（提言など）	<p>① 年金生活で農機具の維持管理が難しい。農機具がいつでも借りられるような制度を市が作ってほしい。</p>	<p>① 大規模農家には購入助成があるが、兼業農家などにはない。意見は今後つなげたい。市の農家支援は物価高騰、経済再生のため、9月補正予算で水稲4,000円/10a、畑作9,000円/10aが予算化された。</p>
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和4年 11月 10日

報告者 2班 班長 津崎 和男